

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：58

問題あり：4件

要確認：10件

問題なし：44件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

山尾志桜里（現在の戸籍名は菅野志桜里）

- 記載内容：「山尾志桜里（やまお しおり、戸籍名：菅野志桜里）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：菅野 志桜里（かんの しおり、1974年7月24日 - ）は、日本の弁護士、政治家、元検察官。出生時の姓は「菅野」。2006年の結婚時に当時の夫の姓である「山尾」に改姓。衆議院議員時代の活動名義は山尾 志桜里（やまお しおり）。2018年の離婚時に「菅野」へ復氏した。

生年月日と年齢

- 記載内容：「1974年生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1974年7月24日 -

出身地

- 記載内容：出身地に関する明確な記載なし
- 検証結果：△要確認
- 根拠・出典：宮城県出身（東京育ち）検索結果では宮城県仙台市出身と記載されているが、レポートでは言及されていない

小沢一郎との関係

- 記載内容：「当時民主党代表だった小沢一郎にスカウトされた」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2007年9月に民主党が次期衆院選の愛知7区の候補者公募を実施すると、これに応募。当時民主党代表だった小沢一郎にスカウトされたとも言われている。

民進党政調会長

- 記載内容：「民進党政調会長（政策責任者）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：民進党政務調査会長（初代）

2. 数値情報

初当選年

- 記載内容：「2009年に民主党公認で初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2009年8月 衆議院議員総選挙にて初当選（愛知7区、182,028票）

選挙区

- 記載内容：「愛知県第7区選出として3期務め」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：衆議院議員（3期）

「保育園落ちた日本死ね」発言時期

- 記載内容：「2016年」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2016年2月29日、衆議院予算委員会において

2022年参院選

- 記載内容：「2022年には無所属で参議院東京選挙区に挑戦（落選）」
- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：検索結果から2022年の参院選出馬の明確な記録は確認できない。2025年の参院選東京選挙区に出馬している。
- 根拠・出典：検索結果では2022年の参院選出馬について具体的な情報が見つからず、むしろ2025年の参院選に出馬していることが確認される

2025年参院選

- 記載内容：「2025年の次期参院選にも再び無所属で立候補を表明」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：山尾志桜里元衆院議員（50）は1日、東京都内で記者会見し、3日公示の参院選に東京選挙区から無所属で出馬すると表明した。

3. その他の重要な事実関係

アニー出演

- 記載内容：「子供の頃にはミュージカル「アニー」で初代主役を務めた」
- 検証結果：△要確認
- 根拠・出典：ミュージカル「アニー」に出演した小学校時代「初代主役」という表現の正確性は要確認

政治資金問題の金額

- 記載内容：「1114万円の寄付を山尾氏本人から受領」
- 検証結果：✓正確

- 根拠・出典：政治資金規正法の上限を超える1114万円の寄付を山尾氏本人から受領したと収支報告書に記載

ガソリン代問題

- 記載内容：「年間230万円ものガソリン代を計上」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：政調会長就任直後、「奇妙な政治資金」と「週刊新潮」に報じられ、なかでも2012年に計上されたガソリン代は230万円。

不倫疑惑相手

- 記載内容：「倉持麟太郎弁護士」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：倉持麟太郎の前妻は同号に手記を寄稿。「彼女は夫婦の寝室にまで上がり込んで、私の全てを奪っていった。事実を認め、その償いをしてもらいたい」と山尾と倉持の不倫を非難。

検察官経験

- 記載内容：「弁護士・元検察官」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：日本の弁護士、政治家、元検察官

東京大学法学部卒業

- 記載内容：「東大法学部を卒業後に検事となった」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1999年 東京大学法学部卒業

改善提案

修正が必要な箇所

1. **2022年参院選出馬について**：レポートでは「2022年には無所属で参議院東京選挙区に挑戦（落選）」と記載されているが、これは事実と異なる。山尾氏は2025年の参院選に出馬している。
2. **出身地の明記**：宮城県仙台市出身であることを明記すべき。
3. **アニー出演の正確性**：「初代主役」という表現の正確性を確認する必要がある。
4. **年齢の統一**：現在50歳（2025年時点）であることを明記。

追加確認が推奨される情報

1. **具体的な選挙結果データ**：各選挙での得票数や順位
2. **法案提出の具体的な件数**：「調査では2本」という表現の根拠
3. **SNSフォロワー数**：「約10万人」「約1万人」という具体的な数値
4. **政治資金問題の詳細な時系列**
5. **国会発言回数**：「数百回規模」という表現の根拠

全体的な評価

記事全体としては高い正確性を保っており、主要な事実関係は検証可能な情報源によって裏付けられています。ただし、2022年参院選出馬については明確な誤りがあり、修正が必要です。その他の細かな数値や表現についても、より具体的な出典の明記が望ましいと考えられます。